

[普及事項]

新技術名：ブドウ「安芸クイーン」及び「ハニーシードレス」のジベレリン剤処理による結実安定と品質向上（平成3年～8年）

研究機関名 果樹試験場天王分場
担 当 者 田口辰雄・嵯峨 清
他3名

[要 約]

ブドウ「安芸クイーン」の無核化と結実安定及び無核品種である「ハニーシードレス」の着粒増加と果粒肥大に、ジベレリン剤の処理効果と実用性が明らかであった。

[ねらい]

ブドウ「安芸クイーン」は、本県では、花振るいが多く生産上問題である。また、「ハニーシードレス」は、ジベレリン処理を行なわないと商品性の向上は望めない品種である。そこで、ジベレリン剤処理の効果と実用性を検討し、両品種の生産安定と市場性を高める。

[技術の内容・特徴]

- 1 ブドウ「安芸クイーン」に対して、ジベレリン剤を、第1回目は満開直後～満開3日後に10～25ppmを、第2回目は満開10～17日後に10～25ppmを果房浸漬処理を行なうことで、花振るいを防止し、結実安定と無核化が図られ商品性が向上した（表1、表2）。
- 2 ブドウ「ハニーシードレス」に対して、ジベレリン剤を、満開3～6日後に100ppmを花房浸漬処理を行なうことで、着粒増加と果粒肥大が図られ、商品性の高い果房が得られた（表3、表4）。

[参考対象範囲]

県内ブドウ生産地帯

[参考上の留意事項]

- 1 処理時期や処理濃度を適正に行なう。
- 2 樹勢は中位からやや強めに維持する。
- 3 処理前の整房及び処理後の摘粒や果房の整形を適正に行なう。

[具体的なデータ等]

表1 「安芸クイーン」に対するジベレリン剤の処理効果（平成5年）

処理濃度 (第1回目処理時)	処理時期	無核化 率(%)	果房重 (g)	1粒重 (g)	糖度 (Brix)	酒石酸 含量%	食味評価
12.5ppm	満開時	92	189	10.4	21.2	0.43	良好
25	満開時	95	237	11.6	20.5	0.47	良好
25	満開3日後	94	274	9.7	21.5	0.44	良好
無処理	—	—	118	11.1	21.3	0.42	良好

※第2回目：満開17日後にGA25ppm処理

表2 「安芸クイーン」に対するジベレリン剤の処理時期と効果（平成6年）

処理濃度 (第1回目処理時)	処理時期	無核化 率(%)	果房重 (g)	1粒重 (g)	糖度 (Brix)	酒石酸 含量%	食味評価
25ppm	満開日	84	252	9.6	19.7	0.36	良好
〃	満開2日後	94	305	10.3	19.2	0.34	良好
〃	満開4日後	87	279	9.5	20.2	0.39	良好
〃	満開6日後	67	230	8.9	20.0	0.37	良好
無処理	—	—	165	11.4	19.6	0.33	良好

※第2回目：第1回目処理10日後にGA25ppmを処理

表3 「ハニーシードレス」に対するジベレリン剤の処理時期と効果（平成5年）

処理濃度	処理時期	着粒数 (果房当)	果房重 (g)	1粒重 (g)	糖度 (Brix)	酒石酸 含量%
100ppm	満開日	80	232	3.7	22.1	0.27
〃	満開2日後	93	243	3.5	21.4	0.32
〃	満開5日後	80	215	3.7	21.9	0.26
〃	満開9日後	68	188	4.2	20.0	0.38
無処理	—	46	71	1.9	22.4	0.22

表4 「ハニーシードレス」に対するジベレリン剤の処理時期と効果（平成7年）

処理濃度	処理時期	果房重 (g)	251g以上の 果房割合%	1粒重 (g)	糖度 (Brix)	酒石酸 含量%
100ppm	満開時	205	23(100)	4.0	20.8	0.47
〃	満開3日後	220	30(130)	4.3	20.4	0.46
無処理	—	116	0	3.1	22.1	0.39

[発表文献等]
なし